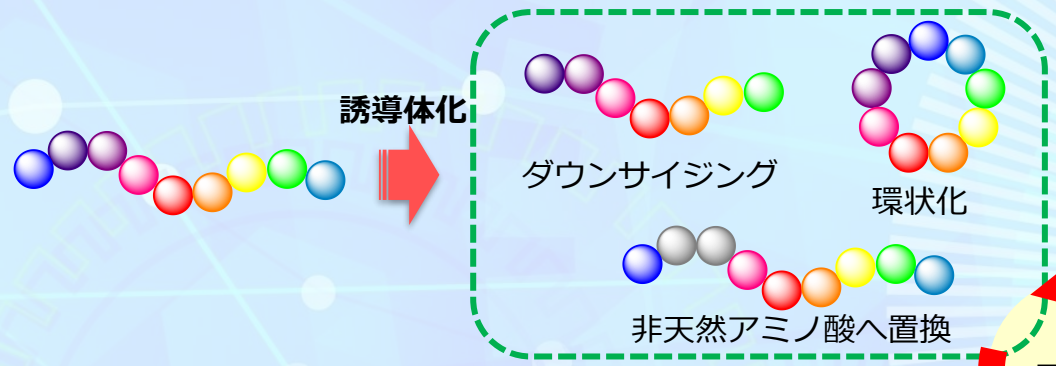


ご希望のペプチドを 合成・評価・提案 致します

東レリサーチセンターでは、お客様のご要望に応じたペプチドを合成致します。さらに、SPRやITCなどを用いた標的物質との相互作用解析、CD、NMR、MSなどを用いた構造解析による評価も実施致します。豊富な合成実績、総合的な分析に基づいた最適なペプチド構造をご提案致します。

【ペプチド合成（誘導体化）】

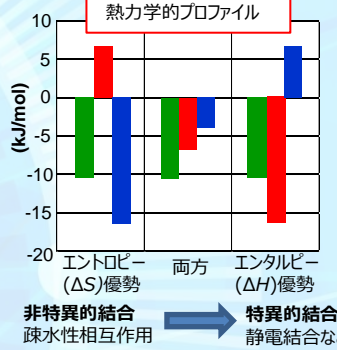
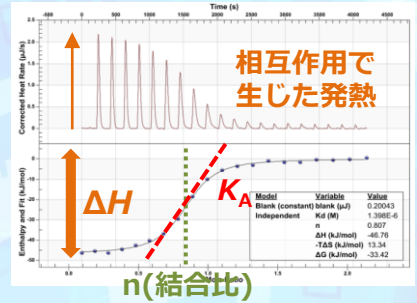
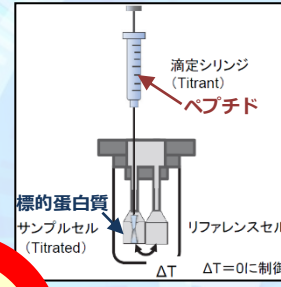
シード化合物となるペプチドに対して、ダウンサイジング（アミノ酸残基の削除）、非天然アミノ酸（D体アミノ酸や α,α -ジ置換アミノ酸）への置換、環状化したペプチドを合成し、標的との相互作用の向上を狙う。



最適化

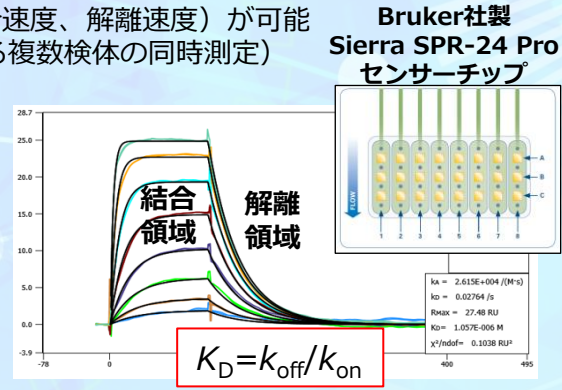
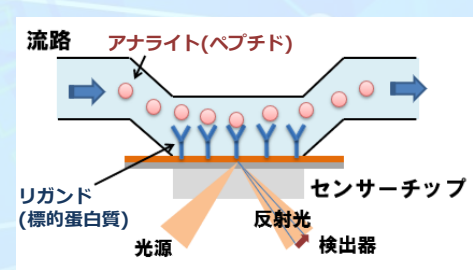
【ITC（等温滴定カロリーメトリー）による熱力学的解析】

- 相互作用に伴い生じる熱変化を観測
- サンプルの標識や固定化が不要で、より自然に近い状態での相互作用解析が可能
- ストイキオメトリー（結合比）
- 熱力学的パラメータ (ΔH , ΔS) から結合様式の推定



【SPR（表面プラズモン共鳴）によるカインेटクス解析】

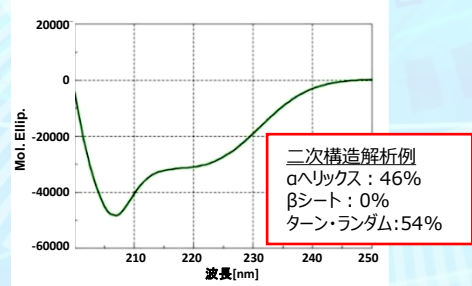
- サンプルを標識することなくリアルタイムで相互作用を検出
- カインेटクス解析（解離定数、結合速度、解離速度）が可能
- ハイスループット（24スポットによる複数検体の同時測定）



【その他のペプチドの分析機能】

CD（円偏光二色性）

- 二次構造解析
- ロット間の高次構造の同等性評価



NMR（核磁気共鳴）

- 構造確認、不純物構造解析
- 1H NMRによるロット間の同等性評価

